



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 将也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 及川 雅晴 TEL 03-3458-5246

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	180,833	2.6	10,653	△23.3	11,342	△22.0	7,775	△34.2
26年3月期第2四半期	176,310	11.4	13,891	3.6	14,537	3.6	11,810	59.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 13,003百万円 (△14.6%) 26年3月期第2四半期 15,218百万円 (183.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	76.13	—
26年3月期第2四半期	115.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	313,483	243,272	74.5
26年3月期	308,787	236,936	72.4

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 233,404百万円 26年3月期 223,564百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
27年3月期	—	25.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	383,000	2.9	28,000	△8.5	29,500	△8.5	18,500	△18.6	181.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）一、 除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	110,881,044株	26年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	8,750,152株	26年3月期	8,744,689株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	102,134,454株	26年3月期2Q	102,148,657株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調となっておりますが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れ等、景気を下押しするリスクも依然として存在しております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は180,833百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業利益は10,653百万円（前年同四半期比23.3%減）、経常利益は11,342百万円（前年同四半期比22.0%減）、四半期純利益は7,775百万円（前年同四半期比34.2%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、109.45円/米ドル（前第2四半期連結累計期間は、97.69円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、主要魚種であります鮭鱒、魚卵、マグロ等を中心に付加価値商品の開発を行い、量販店・コンビニ等へ積極的に販売を行ってまいりました。中でもタラコ・明太子の販売が好調に推移し、その結果、売上高は17,273百万円（前年同四半期比6.6%増）となりましたが、主要魚種の販売において原料価格上昇分を製品価格に十分に転嫁できなかったこと、アジ・サバ等の近海魚の不漁が響き前浜事業が不振だったこと等により、セグメント損失は81百万円（前年同四半期はセグメント損失8百万円）となりました。

海外即席麺事業は、主力商品の積極的な販促活動や新製品導入、大手量販店との連携強化を行ってまいりましたが、主要顧客層である中・低所得者層の節約傾向、小売の在庫圧縮等、売上鈍化の影響が続いております。その結果、現地通貨ベースでは減収となりましたが、円安の影響により、売上高は38,860百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。セグメント利益は、円安効果はありましたが、積極的な販促活動により販売促進費が増加したこと、3月からのマルちゃんテキサス、INC. 新工場稼働による固定費が増加したこと等により、5,220百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。

国内即席麺事業は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動を受け、上期は厳しいスタートとなりました。そのような中、カップ麺では主力ブランドの「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」等和风カップ麺シリーズや、ノンフライカップ麺「麺づくり」を中心に積極的な販促活動を行ったことにより好調に推移しました。袋麺は競争激化を背景とした「マルちゃん正麺」販売減の影響により減収となりました。その結果、売上高は51,071百万円（前年同四半期比5.0%減）、セグメント利益は原材料価格の高騰の影響もあり、3,066百万円（前年同四半期比31.3%減）となりました。

低温食品事業は、生麺は主力品である「マルちゃん焼そば3人前」の消費者キャンペーンの実施や季節限定フレーバーの投入等積極的に販促強化に取り組んだ結果、焼そば類が堅調に推移しました。また、生ラーメン類も昨年秋季のリニューアルから引き続き好調に推移したことにより、生麺全体では前年を上回る結果となりました。冷凍食品類では、市販用の「ライスバーガー」「大盛焼そば」の拡販と共に、外食産業や惣菜向けの販路拡大に努め、順調に推移しました。これらの結果、売上高は34,583百万円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益は1,905百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

加工食品事業は、米飯は無菌米飯が堅調に推移したこと及びレトルト米飯でアイテムを豊富に取り揃えたことにより、売上を伸ばしました。フリーズドライ製品は、5食入りパックを中心に堅調に推移しました。魚肉ハムソーセージは、主力のソーセージが順調に売上を伸ばしました。調味料類、削り節は市場の低迷もあり、売上が減少しました。その結果、売上高は8,603百万円（前年同四半期比0.2%増）、セグメント利益は、原料米の価格が安定してきたこともあり、111百万円（前年同四半期はセグメント損失103百万円）となりました。

冷蔵事業は、円安基調や仕入れ価格の高騰により、原料系の輸入商品の取扱量及び保管在庫量が減少しましたが、輸入冷凍食品や国内貨物の積極的な集荷活動を行い、売上高は7,957百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。セグメント利益は、4月より稼働した東扇島自動倉庫の減価償却費及びその他諸経費の増加により、529百万円（前年同四半期比30.5%減）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は22,516百万円（前年同四半期比4.4%増）、セグメント利益は202百万円（前年同四半期比78.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は4,696百万円増加し313,483百万円、純資産は6,335百万円増加し243,272百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に現金及び預金、有価証券、投資有価証券が増加し、受取手形及び売掛金、建設仮勘定が減少しました。負債は、主に支払手形及び買掛金が増加し、未払費用が減少しました。純資産は、主に利益剰余金、為替換算調整勘定が増加し、少数株主持分が減少しました。

この結果、自己資本比率は74.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年5月15日に発表しました連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	388,000	31,000	32,500	20,500	200円71銭
今回修正予想 (B)	383,000	28,000	29,500	18,500	181円14銭
増減額 (B-A)	△5,000	△3,000	△3,000	△2,000	—
増減率 (%)	△1.3	△9.7	△9.2	△9.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	372,231	30,595	32,243	22,723	222円46銭

## 2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の変更等をいたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が34百万円、退職給付に係る負債が571百万円増加し、利益剰余金が378百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ68百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	54,082	55,271
受取手形及び売掛金	48,989	47,031
有価証券	34,200	36,500
商品及び製品	17,121	18,078
仕掛品	286	340
原材料及び貯蔵品	5,679	5,796
繰延税金資産	1,822	1,753
その他	3,225	3,644
貸倒引当金	△501	△487
流動資産合計	164,904	167,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	52,516	53,658
機械装置及び運搬具(純額)	26,561	27,002
土地	32,090	32,462
リース資産(純額)	3,983	3,717
建設仮勘定	2,989	904
その他(純額)	1,037	1,234
有形固定資産合計	119,179	118,981
無形固定資産		
その他	2,408	2,815
無形固定資産合計	2,408	2,815
投資その他の資産		
投資有価証券	20,114	21,630
繰延税金資産	1,352	1,302
退職給付に係る資産	82	101
その他	744	723
投資その他の資産合計	22,293	23,757
固定資産合計	143,882	145,555
資産合計	308,787	313,483

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,331	25,398
短期借入金	201	210
1年内返済予定の長期借入金	85	55
リース債務	237	222
未払費用	19,378	17,898
未払法人税等	2,875	2,308
繰延税金負債	5	10
役員賞与引当金	175	24
その他	3,380	1,443
流動負債合計	50,669	47,571
固定負債		
長期借入金	30	10
リース債務	3,916	4,285
繰延税金負債	3,652	4,108
役員退職慰労引当金	271	203
退職給付に係る負債	12,649	13,434
負ののれん	75	—
資産除去債務	315	317
その他	270	280
固定負債合計	21,181	22,639
負債合計	71,851	70,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,516	22,516
利益剰余金	189,404	194,248
自己株式	△8,207	△8,218
株主資本合計	222,683	227,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,281	3,987
繰延ヘッジ損益	11	39
為替換算調整勘定	△2,800	1,364
退職給付に係る調整累計額	390	496
その他の包括利益累計額合計	881	5,888
少数株主持分	13,371	9,867
純資産合計	236,936	243,272
負債純資産合計	308,787	313,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	176,310	180,833
売上原価	109,950	117,479
売上総利益	66,360	63,354
販売費及び一般管理費	52,468	52,700
営業利益	13,891	10,653
営業外収益		
受取利息	133	160
受取配当金	195	215
持分法による投資利益	7	37
為替差益	—	37
賃貸収入	220	188
雑収入	313	298
営業外収益合計	869	938
営業外費用		
支払利息	3	118
賃貸収入原価	49	49
為替差損	76	—
雑損失	93	82
営業外費用合計	223	249
経常利益	14,537	11,342
特別利益		
固定資産売却益	1,826	50
補助金収入	1,192	343
負ののれん発生益	641	194
その他	86	10
特別利益合計	3,747	598
特別損失		
固定資産除売却損	52	59
投資有価証券評価損	8	—
減損損失	9	28
その他	8	13
特別損失合計	78	101
税金等調整前四半期純利益	18,206	11,839
法人税、住民税及び事業税	6,237	3,983
法人税等調整額	△45	△56
法人税等合計	6,191	3,926
少数株主損益調整前四半期純利益	12,014	7,913
少数株主利益	204	137
四半期純利益	11,810	7,775

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,014	7,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	912	773
繰延ヘッジ損益	△34	27
為替換算調整勘定	2,321	4,164
退職給付に係る調整額	—	111
持分法適用会社に対する持分相当額	3	11
その他の包括利益合計	3,203	5,089
四半期包括利益	15,218	13,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,998	12,782
少数株主に係る四半期包括利益	219	220

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	18,206	11,839
減価償却費	5,173	5,668
減損損失	9	28
負ののれん発生益	△641	△194
持分法による投資損益(△は益)	△7	△37
投資有価証券評価損益(△は益)	8	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	263	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	397
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9	△68
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△97	△151
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△13
受取利息及び受取配当金	△328	△376
支払利息	3	118
為替差損益(△は益)	76	△37
有形固定資産除売却損益(△は益)	△1,773	9
売上債権の増減額(△は増加)	3,568	2,120
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,773	△898
仕入債務の増減額(△は減少)	7	914
未払費用の増減額(△は減少)	△1,199	△1,583
その他	195	△598
小計	20,690	17,138
利息及び配当金の受取額	294	405
利息の支払額	△3	△118
法人税等の支払額	△6,098	△4,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,881	13,365
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△918	△6,469
定期預金の払戻による収入	4,228	937
有価証券の取得による支出	△45,000	△53,500
有価証券の償還による収入	12,000	33,700
有形固定資産の取得による支出	△10,821	△5,432
有形固定資産の売却による収入	2,458	57
無形固定資産の取得による支出	△436	△746
投資有価証券の取得による支出	△13	△56
投資有価証券の売却による収入	34	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	810	—
貸付けによる支出	△946	△1,295
貸付金の回収による収入	1,077	1,297
その他	△4	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,533	△31,514

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	609	484
短期借入金の返済による支出	△630	△475
長期借入金の返済による支出	△77	△50
子会社の自己株式の取得による支出	—	△3,390
配当金の支払額	△3,064	△2,543
少数株主への配当金の支払額	△116	△114
その他	△129	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,408	△6,223
現金及び現金同等物に係る換算差額	717	944
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25,342	△23,427
現金及び現金同等物の期首残高	51,341	47,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,998	23,993

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	16,203	35,257	53,748	33,034	8,585	7,935	154,765	21,569	176,334	△24	176,310
セグメント間の内部 売上高又は振替高	358	—	1	—	0	468	828	257	1,086	△1,086	—
計	16,562	35,257	53,749	33,034	8,585	8,403	155,593	21,827	177,421	△1,110	176,310
セグメント利益 又は損失(△)	△8	6,206	4,465	1,764	△103	762	13,087	955	14,042	△151	13,891

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 外部顧客への売上高の調整額△24百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益又は損失の調整額△151百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△399百万円、棚卸資産の調整額12百万円及びその他の調整額236百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しい為記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	17,273	38,860	51,071	34,583	8,603	7,957	158,349	22,516	180,866	△32	180,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	464	—	1	—	0	461	927	246	1,174	△1,174	—
計	17,737	38,860	51,073	34,583	8,603	8,418	159,277	22,763	182,040	△1,206	180,833
セグメント利益 又は損失(△)	△81	5,220	3,066	1,905	111	529	10,752	202	10,955	△301	10,653

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 外部顧客への売上高の調整額△32百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益又は損失の調整額△301百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△486百万円、棚卸資産の調整額24百万円及びその他の調整額160百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しい為記載を省略しております。